



11月度選抜用
(学校推薦型, 総合型[公募制] 他)

入学者選抜要項

[2027年度]



静岡理工科大学

目 次

募集人員	p1	建学の精神と基本理念	p19
2027年度生 入学選抜日程	p1	アドミッションポリシー	p19
求める学力について	p2	カリキュラムポリシー	p20
書類を利用した試験科目とその評価について	p2	ディプロマポリシー	p22
入学選抜要項		個人情報の取扱いについて	巻末
指定校推薦	p3		
専門高校 総合学科 給費奨学生推薦	p4		
公募制 一般推薦	p5		
公募制 自己推薦	p6		
専願制 総合型 給費奨学生	p7		
出願について	p8		
入学検定料割引制度	p9		
試験会場案内	p9		
受験上の注意	p9		
WEB出願の流れ	p10		
可否案内サービス(PASS-TEL)について	p14		
入学手続について	p15		
給費型奨学生制度	p16		
給費奨学生チャレンジ制度	p16		
公募制 給費奨学生	p16		
一般前期(A)・一般前期(A) 共通テストプラス	p17		
前期共通テスト利用(S)(A)	p18		

■設置学部・学科・学系・コース

学部	学科	学系	コース
理工学部	理工学科	機械・自動車・航空・AIロボット系	航空工学コース ロボット工学コース 自動車工学コース
		電気電子情報系	制御・エネルギーコース 情報通信・デバイスコース
		化学・バイオ系	材料・環境コース 食品・バイオコース
建築・都市デザイン学部	建築・都市デザイン学科	建築学系	建築学コース
		都市デザイン学系	地域創生コース 地球工学コース
情報学部	情報学科	—	コンピュータコース クリエイションコース
			人間情報学コース 社会情報学コース

募集人員

選抜区分 選抜種別				学校推薦型選抜			総合型選抜		総合型選抜		特待生選抜	一般選抜					
				指定校推薦	専門・総合 給費奨学生推薦	公募制一般推薦	公募制自己推薦	専願制総合型 給費奨学生	学系別	留学生 社会人 帰国生	公募制 給費奨学生	本学一般		共通テスト プラス		大学入学 共通テスト利用	
												前期	後期	前期	後期	前期	後期
学部・学科・学系（略称）			募集定員									(A)(B)	(A)(B)	(A)(B)	(A)(B)	(S)(A) (B)(C)	(A)(B) (C)
学部・学科	学系	学科	学系	11月				9～2月	10・12・1月	12月	1・2月	3月	1・2月	3月	1・2月	3月	
理工	機械	190	70	15	10	3	2	10	2	50	9	2	2	2	8	3	
	電気		60	9		2	1		10		2	8	2	2	2	7	3
	化学		60	9		2	1		10		2	8	2	2	2	7	3
建築・都市デザイン	建築	90	45	7		2	1		7		2	5	2	2	2	4	3
	都市		45	7		2	1		7		2	5	2	2	2	4	3
情報	－	140		44			6		3		12	2		26	2	2	2
合計		420		91	10	17	9	10	56	12	50	61	12	12	12	51	17

2027年度生 入学者選抜日程

選抜区分	学部・学科			入学者選抜種別	試験日	試験会場	出願方法	出願期間	結果通知日	手続書類送付日	入学金納入締切日
学校推薦型	理工	建築・都市	情報	指定校推薦	11月14日(土)	本学	WEB	2026年10月30日(金)～11月5日(木) 正午まで	12月1日(火)	12月1日(火)	12月15日(火)
専門高校・総合学科 給費奨学生推薦											
公募制 一般推薦											
公募制 自己推薦											
専願制 総合型給費奨学生 (総合型内定者対象)				総合型選抜内定時に 別途通知							
総合型	理工	建築・都市	情報	学系別 最早期・前期・中期・後期	9月～2月	本学	WEB	期毎異なる 詳細は受験生サイトで確認のこと。			
特待生	理工	建築・都市	情報	公募制 給費奨学生	12月12日(土)	本学 沼津 静岡 甲府	WEB	2026年11月23日(月)～12月3日(木) 正午まで	12月23日(水)	12月23日(水)	2月24日(水)
本学一般	理工	建築・都市	情報	一般前期(A)・(B)	1月30日(土)	本学 沼津 静岡 名古屋 *1	WEB	2027年1月5日(火)～1月21日(木) 正午まで	2月11日(木)	2月13日(土)	2月24日(水)
					1月31日(日)						
					2月1日(月)						
				一般後期(A)・(B)	3月4日(木)	本学	WEB	2027年2月8日(月)～2月24日(水) 正午まで	3月14日(日)	3月16日(火)	3月22日(月)
*2 共通テストプラス	理工	建築・都市	情報	一般前期(A)・(B) 共通テストプラス	一般前期を受験すること		WEB	2027年1月5日(火)～1月21日(木) 正午まで	2月11日(木)	2月13日(土)	2月24日(水)
				一般後期(A)・(B) 共通テストプラス	一般後期を受験すること		WEB	2027年2月8日(月)～2月24日(水) 正午まで	3月14日(日)	3月16日(火)	3月22日(月)
大学入学共通テスト利用	理工	建築・都市	情報	前期共通テスト利用(S)	個別試験は課さない		WEB	2027年1月5日(火)～1月15日(金) 正午まで	2月11日(木)	2月13日(土)	2月24日(水)
				前期共通テスト利用(A)	個別試験は課さない		WEB	2027年1月5日(火)～1月24日(日) 正午まで	2月11日(木)	2月13日(土)	2月24日(水)
				前期共通テスト利用(B)							
			-	前期共通テスト利用(C)*3	個別試験は課さない		WEB	2027年2月15日(月)～3月5日(金) 正午まで	3月14日(日)	3月16日(火)	3月22日(月)
			情報	後期共通テスト利用(A)							
				後期共通テスト利用(B)							
				-							

*1 試験日により実施会場が異なる。一般選抜用入学者選抜要項及び本学受験生サイト参照。
*2 共通テストプラスは、同時期の本学一般の受験結果に2027年の大学入学共通テストの対象教科の結果を1科目プラスして判定を行う。
*3 前期・後期共通テスト利用(C)は、理工学科(3学系)と建築・都市デザイン学科(2学系)のみの募集

求める学力について

高校での課程によらず、本学一般選考で課す科目をできるだけ履修していることが望ましいと考える。

そこで、本学入学後に理工学、建築・都市デザイン学、情報学の学習を進めるにあたってのベースとなる数学の基礎学力の修得状況を確認・評価するため、全学科学系とも「数学基礎【数学Ⅰ・数学A（場合の数と確率、図形の性質）】」を課し、記述式問題を含めて出題する。

また、建築学系では「実技試験」を課し、課題であるデッサンへの取り組みを通して、建築学を学ぶにふさわしい技能や表現力ならびに関心や意欲を有しているのかを評価し、判定に加える。

書類を利用した試験科目とその評価について

審査に使用する書類（調査書を除く）は、受験生サイトの入試情報「志願書類データ」ページより、書式データをダウンロードすること。

□ 書類審査A(調査書)の評価

全体の学習成績の状況に基づき評価を行う。配点は選抜種別により異なる。

例：配点15点の場合は「全体の学習成績の状況」を3倍、30点の場合は6倍、50点の場合は10倍する

ただし、感染症等に伴う臨時休業により、条件とする時期の全体の学習成績の状況の記載ができない場合は、出願時点において記載できる最も新しい全体の学習成績の状況に読み替えるものとする。

□ 書類審査B(推薦書)の評価

学力の3要素に関する記載内容について3段階で評価する。

□ 活動報告書の評価 受験生サイトの入試情報「志願書類データ」ページより「活動報告書記入例」を確認すること

本学指定用紙(様式B)に記載された次の項目【評価点各1点】についての評価を行う。

基本各1点、配点は選抜種別により異なる。

例：配点20点の場合は評価点を4倍する

- I 高度な技術や能力を持つ者(資格・検定)
- II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者
- III 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者(発表会・コンテスト・競技会)
- IV その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者
- V プラス評価 上記4項目の内、同一項目内に複数の違う分野での活動実績が認められる者に【評価点1点を加点】する

□ 志望理由書の評価 受験生サイトの入試情報「志願書類データ」ページより「志望理由書記入例」を確認すること

本学指定用紙(様式C)に400字以内(出身校名と氏名の行含む)で記載。

将来の目標に対して、本学に進学する目的、興味のある研究や行きたい研究室を含めての記載を求める。

なお、以下の選抜種別において、次の対象者のみ志望理由書を書類審査Cとし、記載の内容を3段階で評価する。

● 公募制 自己推薦【配点30点】

【対象】 全体の学習成績の状況の記載がない書類(卒業証明書、成績証明書、合格成績証明書等)を提出した者。

指定校推薦

☐ 募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械・自動車・航空・AIロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系(学系単位の募集)

[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系(学系単位の募集)

[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

☐ 出願資格

以下の条件を満たす者

- ・専願であること(他校との併願不可。ただし、12月末までに結果が判明する国公立大学学校推薦型選抜・総合型選抜との併願は可)
- ・本学が指定する高等学校を2027年3月に卒業見込みの者
- ・在籍校の学校長が推薦する者
- ・高校最終年次1学期(前期末)までの「全体の学習成績の状況」条件有(高校毎に異なる)

☐ 選考会場・選考日程

会場	WEB 出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学手続期間
本学会場 ※p9参照	2026年10月30日(金)10時から ー11月5日(木)正午まで	11月9日(月)必着	11月14日(土)	12月1日(火)	12月2日(水)ー12月15日(火)

☐ 選考基準 高等学校での学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

☐ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

● 建築学系希望者の試験開始は9:30、その他学科学系希望者の試験開始は11:30とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数学Ⅰ・数学A(場合の数と確率、図形の性質)】	100点	11:30 - 12:30	60分
面接	個人面接	100点	13:30 - 順次	5分
書類審査A(調査書)	全体の学習成績の状況×10	50点	ー	
書類審査B(推薦書)	学力の3要素の記載内容について3段階で評価	30点	ー	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	ー	
志望理由書	指定用紙に400字以内にまとめ提出	ー	ー	
実技試験 (建築学系のみ)	デッサン:①静物、②観察力 ※受験生サイト本学の入試について内「建築学系の実技試験について」を参照	50点	9:30 - 11:00	90分

☐ 出願方法 WEB出願でのみ受付。本誌p10-13に記載の要領に沿って出願すること。

☐ 入学検定料 30,000円 入学検定料は11月5日までに納付のこと。

☐ 出願書類

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(11月9日必着)のこと。

なお、本学所定の用紙は、受験生サイトの入試情報「志願書類データ」ページからダウンロードすること。

- ・WEB志願票
- ・調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- ・本学所定の用紙
①推薦書(様式A) ②活動報告書(様式B) ③志望理由書(様式C)

☐ 受験票・写真票 出願期間終了後から試験日3日前までにWEB出願サイトに一斉配信。印刷し、必ず当日持参すること。

☐ 結果通知

- ・合格者には結果通知日(12月1日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する
本学構内での掲示による発表は行わない

専門高校・総合学科 給費奨学生推薦

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜 (p16 参照)

給費型奨学生採用区分と枠

- ・授業料 50 万円給費奨学生 本学全体で 10 名を目処に採用 (最大 4 年間 200 万円給費*更新条件有)
- ・奨学生採用枠から漏れた場合は原則指定校推薦の基準で合否判定する

募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械・自動車・航空・AI ロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系 (学系単位の募集)
[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系 (学系単位の募集)
[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

出願資格 以下の条件を充たす者

- ・専願であること (他校との併願不可。ただし、12 月末までに結果が判明する国公立大学学校推薦型選抜・総合型選抜との併願は可)
- ・高等学校 (中等教育学校を含む) の専門学科や総合学科を 2027 年 3 月に卒業見込みの者
- ・在籍校の学校長が推薦する者
- ・在籍校の最終年次 1 学期 (前期末) までの全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者

選考会場・選考日程

会場	WEB 出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学手続期間
本学会場 ※p9 参照	2026 年 10 月 30 日 (金) 10 時から ー 11 月 5 日 (木) 正午まで	11 月 9 日 (月) 必着	11 月 14 日 (土)	12 月 1 日 (火)	12 月 2 日 (水)ー12 月 15 日 (火)

選考基準

高等学校での専門学科や総合学科における専門科目の学修状況や活動状況を確認し、奨学生として相応しい学力を有するかを判定する。

選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

- 建築学系希望者の試験開始は 9 : 30、その他学科学系希望者の試験開始は 11 : 30 とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数学 I・数学 A (場合の数と確率、図形の性質)】	100 点	11 : 30 - 12 : 30	60 分
面接	個人面接	100 点	13 : 30 - 順次	10 分
書類審査 A (調査書)	全体の学習成績の状況×10	50 点	—	
書類審査 B (推薦書)	学力の 3 要素の記載内容について 3 段階で評価	30 点	—	
活動報告書	指定用紙の評価 4 項目に該当する事項を記入	20 点	—	
志望理由書	指定用紙に 400 字以内にまとめ提出	—	—	
実技試験 (建築学系のみ)	デッサン:①静物,②観察力 ※受験生サイト本学の入試について内「建築学系の実技試験について」を参照	—	9 : 30 - 11 : 00	90 分

出願方法 WEB出願でのみ受付。本誌p10-13に記載の要領に沿って出願すること。

入学検定料 30,000円 入学検定料は11月5日までに納付のこと。

出願書類

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類 (WEB 志願票、宛名シート) を印刷し、以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付 (11 月 9 日必着) のこと。
なお、本学所定の用紙は、受験生サイトの入試情報「志願書類データ」ページからダウンロードすること。

- ・WEB 志願票
- ・調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- ・本学所定の用紙
①推薦書 (様式 A) ②活動報告書 (様式 B) ③志望理由書 (様式 C)

受験票・写真票 出願期間終了後から試験日3日前までにWEB出願サイトに一斉配信。印刷し、必ず当日持参すること。

結果通知

- ・合格者には結果通知日 (12 月 1 日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する
- ・本学構内での掲示による発表は行わない
- ・給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される

公募制 一般推薦

☐ 募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械・自動車・航空・AIロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系(学系単位の募集)
[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系(学系単位の募集)
[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

☐ 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者で、在籍校の学校長が推薦する者

- ・高等学校(中等教育学校を含む)を2027年3月に卒業見込みの者
- ・専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを2027年3月31日までに修了見込みの者

☐ 選考会場・選考日程

会場	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学手続期間
本学会場 ※p9参照	2026年10月30日(金)10時から ー11月5日(木)正午まで	11月9日(月)必着	11月14日(土)	12月1日(火)	12月2日(水)ー12月15日(火)

☐ 選考基準 高等学校での学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

☐ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

● 建築学系希望者の試験開始は9:30、その他学科学系希望者の試験開始は11:30とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数学Ⅰ・数学A(場合の数と確率、図形の性質)】	100点	11:30 - 12:30	60分
面接	個人面接	50点	13:30 - 順次	5分
書類審査A(調査書)	全体の学習成績の状況×3	15点	ー	
書類審査B(推薦書)	学力の3要素の記載内容について3段階で評価	15点	ー	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	ー	
志望理由書	指定用紙に400字以内にまとめ提出	ー	ー	
実技試験 (建築学系のみ)	デッサン:①静物、②観察力 ※受験生サイト本学の入試について内「建築学系の実技試験について」を参照	50点	9:30 - 11:00	90分

☐ その他 学科・学系を問わず、第2志望学系(情報は学科)まで選択できる。他大学との併願可。

☐ 出願方法 WEB出願でのみ受付。本誌p10-13に記載の要領に沿って出願すること。

☐ 入学検定料 30,000円 入学検定料は11月5日までに納付のこと。

☐ 出願書類

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(11月9日必着)のこと。

なお、本学所定の用紙は、受験生サイトの入試情報「志願書類データ」ページからダウンロードすること。

- ・WEB志願票
- ・調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- ・本学所定の用紙
①推薦書(様式A) ②活動報告書(様式B) ③志望理由書(様式C)

☐ 受験票・写真票 出願期間終了後から試験日3日前までにWEB出願サイトに一斉配信。印刷し、必ず当日持参すること。

☐ 結果通知

- ・合格者には結果通知日(12月1日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には送付しないので注意すること
- ・本学構内での掲示による発表は行わない
- ・合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。
利用方法についてはp14を参照すること

公募制 自己推薦

☐ 募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械・自動車・航空・AIロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系(学系単位の募集)

[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系(学系単位の募集)

[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

☐ 出願資格 次の(1)(2)(3)いずれかの条件を満たす者

(1) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び2027年3月に卒業見込みの者

(2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した者及び2027年3月に卒業見込みの者

(3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の①～⑥のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2027年3月末までに修了見込みの者

③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者

④ 文部科学大臣の指定した者

⑤ 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定含む)に合格した者及び2027年3月末までに合格見込みの者で2027年3月31日までに18歳に達する者

⑥ 本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに18歳に達する者

☐ 選考会場・選考日程

会場	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学手続期間
本学会場 ※p9参照	2026年10月30日(金)10時から ー11月5日(木)正午まで	11月9日(月)必着	11月14日(土)	12月1日(火)	12月2日(水)ー12月15日(火)

☐ 選考基準 これまでの学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

☐ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

● 建築学系希望者の試験開始は9:30、その他学科学系希望者の試験開始は11:30とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数学Ⅰ・数学A(場合の数と確率、図形の性質)】	100点	11:30 - 12:30	60分
面接	個人面接	50点	13:30 - 順次	5分
書類審査A(調査書)	全体の学習成績の状況×6	30点	ー	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	ー	
書類審査C(志望理由書)	指定用紙に400字以内にまとめ提出	p2参照	ー	
実技試験 (建築学系のみ)	デッサン:①静物、②観察力 ※受験生サイト本学の入試について内「建築学系の実技試験について」を参照	50点	9:30 - 11:00	90分

☐ その他 学科・学系を問わず、第2志望学系(情報は学科)まで選択できる。他大学との併願可。

☐ 出願方法 WEB出願でのみ受付。本誌p10-13に記載の要領に沿って出願すること。

☐ 入学検定料 30,000円 入学検定料は11月5日までに納付のこと。

☐ 出願書類

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(11月9日必着)のこと。

なお、本学所定の用紙は、受験生サイトの入試情報「志願書類データ」ページからダウンロードすること。

・WEB志願票

・調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。

・本学所定の用紙

①活動報告書(様式B) ②志望理由書(様式C)

☐ 受験票・写真票 出願期間終了後から試験日3日前までにWEB出願サイトに一斉配信。印刷し、必ず当日持参すること。

☐ 結果通知

- 合格者には結果通知日(12月1日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。なお、不合格者には送付しないので注意すること
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp14を参照すること

専願制 総合型 給費奨学生

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜 (p 16 参照)

☐ 給費型奨学生採用区分と枠

- ・授業料 50 万円給費奨学生 本学全体で 10 名を目処に採用(最大 4 年間 200 万円給費*更新条件有)
- ・奨学生採用枠から漏れた場合は総合型選抜での合格とする

☐ 募集学部・学科・学系 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部 理工学科] 機械・自動車・航空・AI ロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系 (学系単位の募集)

[建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科] 建築学系、都市デザイン学系 (学系単位の募集)

[情報学部 情報学科] (学科単位の募集)

☐ 出願資格 以下の条件を充たす者

- ・本学総合型選抜「最早期」または「前期」の内定者であること

☐ 選考会場・選考日程

会場	WEB 出願期間	試験日	結果通知日	入学手続期間
本学会場 ※ p9 参照	総合型選抜内定時に別途通知	11月14日(土)	12月1日(火)	12月2日(水)ー12月15日(火)

☐ 選考基準

奨学生として相応しい学力を有するかを判定する。

☐ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。

- 試験開始は 11 : 30 とする。

試験項目	内容	配点	時間
学力試験	数学基礎【数学 I・数学 A (場合の数と確率、図形の性質)】	100点	11 : 30 - 12 : 30 60分

☐ 出願方法 WEB出願でのみ受付。本誌p10-13に記載の要領に沿って出願すること。

☐ 入学検定料 20,000円

入学検定料は総合型選抜内定時に通知する期限までに納付のこと。

☐ 受験票・写真票 出願期間終了後から試験日3日前までにWEB出願サイトに一斉配信。印刷し、必ず当日持参すること。

☐ 結果通知

- ・合格者には結果通知日 (12 月 1 日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する
- ・本学構内での掲示による発表は行わない
- ・給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される

出願について

出願方法は「WEB 出願」のみです。本学受験生サイトの WEB 出願のバナーより利用可能 (p10-13 参照)

■ 出願上の注意

各選考ページの出願書類の欄と WEB 出願の流れ p10-13 を参照し、出願すること。
出願書類の本学所定の用紙は受験生サイトの入試情報「志願書類データ」ページからダウンロードすること。
WEB 出願締切日と書類提出締切日が異なるのでよく確認すること。
出願書類に不足または不備がある場合および期限を過ぎたものは受理できない。
一旦受理した書類はいかなる事由においても返還できない。
出願後の志望学科・学系の変更は認めない。
結果の通知を出身高等学校等に行うことを了承すること。

■ 入学検定料支払いに際しての注意

選択した支払い方法に基づき支払うこと。いずれの場合も振込手数料は本人負担となること。
一旦納入した入学検定料はいかなる事由においても返還できないこと。
領収書など志願者が保管すべき書類は大切に保管すること。

■ 出願期間と検定料振込期限、書類提出期限

選考区分	WEB 出願期間	検定料振込期限	書類提出期限
指定校推薦 専門高校・総合学科給費奨学生推薦 公募制 一般推薦 公募制 自己推薦	2026年10月30日(金)10時から ー11月5日(木)正午まで	11月5日(木)	11月9日(月)必着

※専願制 総合型給費奨学生は総合型選抜内定時に通知

■ WEB 出願サイト マイページへの事前登録について

WEB 出願サイトのマイページ登録は、出願期間前の 2026 年 8 月 24 日 (月) から事前登録が可能です。

■ 出願方法



入学検定料割引制度

本学では、受験に掛かる費用の負担軽減を鑑み、入学検定料の割引制度を導入。

本学における初めての入学選考出願後、以降の選考への出願や同時期での別日程や複数学系への出願をした場合などに次に示す「本学試験グループ」「共通テストグループ」それぞれのグループ内で追加の検定料が不要となる「検定料定額制（複数出願追加検定料不要）」の制度です。

□ 入学検定料

■ 選考区分「本学試験グループ」 定額 30,000 円で複数学系・入試種別、複数回出願可。追加の検定料は不要。
【該当する選考】

総合型選抜、指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制一般推薦、公募制自己推薦、
専願制総合型給費奨学生、公募制給費奨学生
一般前期(A)、一般前期(B)、一般前期(A) 共通テストプラス、一般前期(B) 共通テストプラス、
一般後期(A)、一般後期(B)、一般後期(A) 共通テストプラス、一般後期(B) 共通テストプラス

■ 選考区分「共通テストグループ」 定額 20,000 円で複数学系・種別、複数回出願可。追加の検定料は不要。
【該当する選考】

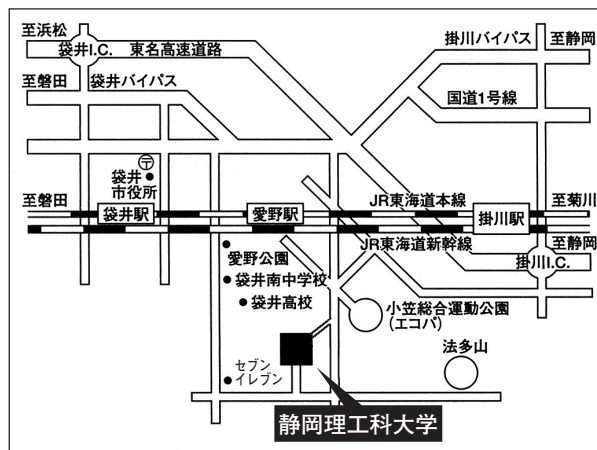
前期共通テスト利用(S)、前期共通テスト利用(A)、前期共通テスト利用(B)、前期共通テスト利用(C)、
後期共通テスト利用(A)、後期共通テスト利用(B)、後期共通テスト利用(C)

試験会場案内

■ 本学会場

指定校推薦	11/14 (土)
専門高校・総合学科 給費奨学生推薦	
公募制 一般推薦	
公募制 自己推薦	
専願制 総合型給費奨学生	

本学会場



会場 静岡理科大学 静岡県袋井市豊沢2200-2

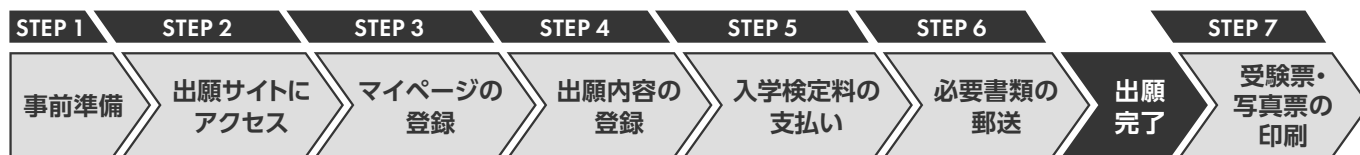
交通 ・JR「愛野」駅南口よりシャトルバスで約6分
・バスの運行時間（JR愛野駅南口→本学）については
本学受験生サイトで確認すること。

受験上の注意

- ・受験生は、試験会場への交通所要時間などを事前に確認しておくこと。
- ・試験当日は、受験票・写真票を必ず持参すること。忘れた場合や紛失した場合には、試験会場本部に申し出ること。
- ・受験生は、試験開始の20分前までに試験会場の所定の場所に着席し、受験票・写真票を机上に提示すること。
- ・携帯電話等は、試験会場に入る前に電源を切ること。なお、時計として使用することもできないので注意すること。
- ・筆記用具は、HBより濃い黒鉛筆またはシャープペンシルとプラスチック消しゴムが使用可。
- ・建築学系において実技試験が課される選抜種別の場合は、鉛筆(H、HB、B、2Bなど)、練り消しゴムを用意すること。
- ・定規、コンパス、下敷き、電卓、計算機、辞書機能を備えた時計などの使用は認めない。
- ・試験会場内では監督者、係員の指示に従うこと。
- ・試験開始後、30分を越える遅刻者は入室できない。
- ・試験開始後は終了まで退室できない。
- ・試験時間が午後までかかるので昼食を持参すること。
- ・受験生に対する宿泊施設等の斡旋は行わないので、各自で手配すること。
- ・下足のままで入室可能なため、スリッパ等上履きの用意はしなくて良い。

WEB出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、写真など（必要書類は出願する入試により異なります）



(顔写真データ)

STEP

2



WEB出願サイトにアクセス

WEB出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/sist-net/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



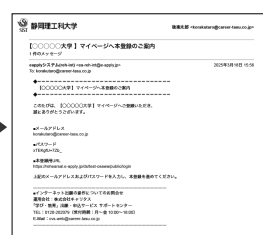
①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
「マイページへ」をクリックしてください。

⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
「出願手続きを行う」ボタン
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認
※対象入試の出願には、事前に付与
されたパスワードの入力が必要です。



③ 志望学系等の選択



④ 顔写真のアップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥ 出願内容の確認



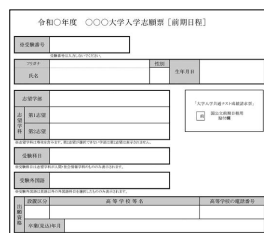
⑦ 申込登録完了
「引き続き支払う」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



欄外注意事項確認



⑧ 入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

確認番号
メモ(6桁)

1 2 3 4 5 6

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

WEBで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、

FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

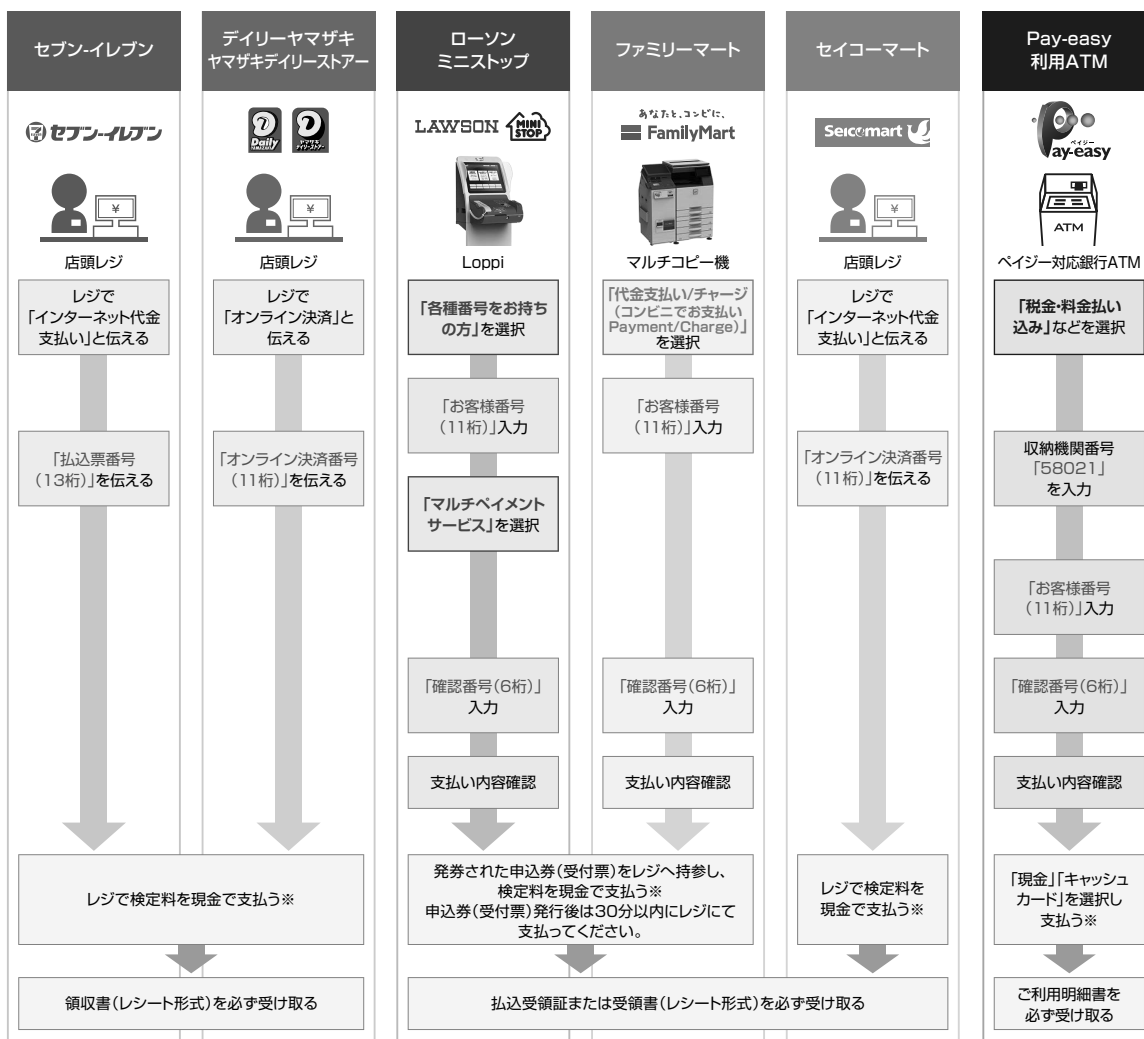
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

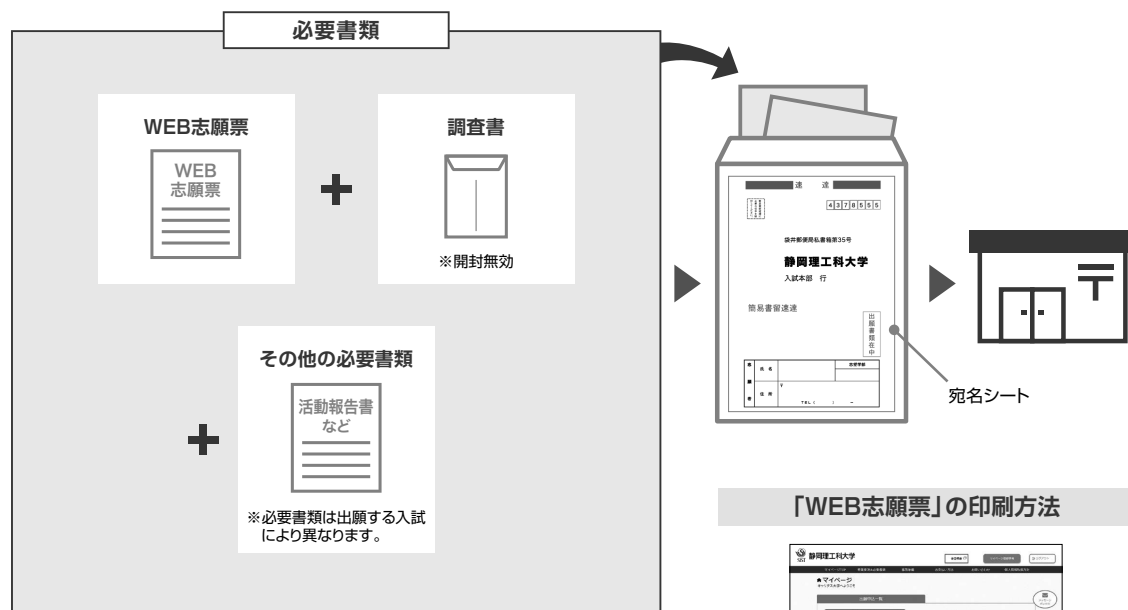
STEP

6

必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて提出期限までに郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※書類提出期限(必着)。



送付先

〒437-8555 袋井郵便局私書箱第35号
静岡理工科大学 入試本部 行

■出願書類

詳細は入学者選抜要項「出願書類」を確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「WEB志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになりWEB志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWEB出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

WEB出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日12時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は書類提出期限(必着)です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

「受験票・写真票」の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験3日前までに一斉に「受験票・写真票」を配信します。WEB出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、「受験票・写真票」とともに試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※「受験票・写真票」のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※「受験票・写真票」は同じ用紙に出力されます。

【印刷に関する注意事項】「受験票・写真票」は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



合否案内サービス (PASS-TEL) について

合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス」でお知らせします。詳細については以下の通りです。

□ 利用できる選考

公募制 一般推薦、公募制 自己推薦

□ 合否案内サービス利用方法

このサービスはインターネットで合否結果を照会するシステムです。

(1) インターネットによる照会

- ① スマートフォンまたは、パソコンをご利用ください。(機種条件により利用できない場合があります。事前確認をお願いします。)
- ② 照会は「受験番号」と「暗証番号(誕生日の月日4桁)」を使用します。誕生日はWEB出願時に登録いただいたものが反映されます。

(2) 利用上の注意事項

- ① 受験した学系(情報は学科)、受験番号等のお問い合わせにはお答えできませんので、試験当日、座席に配布されている「受験番号確認票」を必ず持ち帰り、この「入学者選抜要項」とあわせて、合格発表日まで保管してください。また、合否に関する本学への電話等でのお問い合わせも一切受け付けいたしませんのでご了承ください。
- ② 本システムの「誤操作」、「見間違い」等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認められません。

□ 合否案内サービスを利用できる選考とその期間

選考区分		案内サービス期間
公募制 一般推薦	公募制 自己推薦	2026年12月1日(火)～12月2日(水) 9時～24時(両日とも)

□ 合否確認方法 (WEB出願サイトのマイページ上部にある合否サービスからも確認できます。)

ステップ1 URLを入力
<https://www.gouhi.com/sist/>
(スマートフォン・パソコン共通)



ステップ2
受験番号を入力

ステップ3

ステップ4

誕生日を入力

ステップ5

結果表示

※図はイメージ図であり、実際の画面とは異なる場合があります。
※すべて確認された方は、切断してください(終了)。

例) 3月5日→0305

入学手続について

合格者には、「合格通知書」「入学手続要項」を送付するので、熟読のうえ、入学手続期間内に必要な手続を完了すること。
なお、期日までに手続を完了しない場合には、入学を辞退するものとして取り扱う。

*入学手続完了後の学科・学系の変更は認めないので注意すること。ただし、他の種別で他学系（情報は学科）に合格した場合にはその限りではない。

- 入学手続書類の提出 郵送に限る（締切日当日消印有効）
- 納付金の納入 指定口座への銀行振込に限る
- 入学手続期間

選考区分	入学手続期間（書類・入学金・授業料等納付金）
指定校推薦	12月2日(水)～ 12月15日(火)
専門高校・総合学科給費奨学生推薦	
公募制 一般推薦	
公募制 自己推薦	
専願制 総合型給費奨学生	

☐ 入学金以外の納付金の返還

入学手続完了者で、2027年3月26日までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金を除く納付金を返還する。
返還は事務手続きの関係上、4月末日となるので留意すること。詳細については、合格通知と共に送付する「入学手続要項」を参照のこと。

☐ 初年度納付金（2027年度入学生）

納付金の種類	入学金	授業料	計
前期	220,000円	703,500円	923,500円
後期	—	703,500円	703,500円

* 本学の「授業料」には施設設備費や実習費、応用ソフトウェア代が含まれている。
* 給費型奨学生の権利を得たものは、納付費用が変更される。

☐ 代理徴収金（2027年度入学生—予定額）

後援会費 15,750 円（1 年間分）、学生教育研究災害保険料 4,660 円（4 年間分）（2026 年度実績）の合計 20,410 円を代理徴収する。

☐ 注意事項

一旦提出された入学手続関係書類および入学金は、いかなる理由があっても返還しないので慎重に手続きをすること。

☐ ノートパソコンの購入について

本学では、コンピュータ教育の充実を図るため、新入生全員にノートパソコンを所持していただきます。本学が斡旋する機種を希望する場合は、一括払いか分割払いで購入いただけます。【2026 年度入学生一括払い実績額 179,080 円（税込）】

☐ 日本学生支援機構の給付奨学金について

独立行政法人 日本学生支援機構の【給付奨学金】へ予約採用の申し込みを行い、採用候補者として決定された方については初年度納付金の金額と授業料の納付時期が異なります。

詳細については、合格通知と共に送付する入学手続要項に記載していますので、確認のうえ、手続きを行う前にご連絡ください。

静岡理工科大学 給費型奨学生制度(返還義務なし)

対象となる選抜種別内での成績が特に優秀な受験生に対し、勉学奨励を目的として、授業料給付等の特典が与えられる奨学生制度。

□ 奨学生採用区分と対象入学選考・枠

■ 授業料100万円給費奨学生【授業料サポート100】

*最大4年間400万円給費【学年末に更新審査有:継続条件—在籍学系(情報は学科)の成績上位20%以内】

● 対象選抜種別と採用枠

- 「一般前期(A)」 「一般前期(A) 共通テストプラス」の成績優秀者として成績上位の者を採用
- 【採用枠:上記選考より最大30名を目途】

■ 授業料50万円給費奨学生【授業料サポート50】

*最大4年間200万円給費【学年末に更新審査有:継続条件—在籍学系(情報は学科)の成績上位25%以内】

● 対象選抜種別と採用枠

- 「専門高校・総合学科給費奨学生推薦」の成績優秀者 【採用枠:10名を目処】
- 「専願制 総合型給費奨学生」の成績優秀者 【採用枠:10名を目処】
- 「公募制 給費奨学生」の合格者の内、合計得点率50%以上の者を採用【採用枠:人数制限なし】
- 「前期共通テスト利用(S)」の合格者の内、合計得点率60%以上の者を採用【採用枠:人数制限なし】
- 「前期共通テスト利用(A)」の合格者の内、合計得点率65%以上の者を採用【採用枠:人数制限なし】

給費奨学生チャレンジ制度

指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制 一般推薦、公募制 自己推薦といった推薦選抜や、総合型選抜の合格者が、入学の権利を保持した(入学手続完了者の)まま、給費型奨学生の対象選考にチャレンジできる制度。

この制度で給費型奨学生に採用された場合には、納入済みの費用の差額が返還される。

給費奨学生チャレンジ制度の対象選考の概要は以下(p16-18参照)

公募制 給費奨学生 (特待生選抜・全学統一方式)

□ 給費型奨学生採用区分と枠

- 授業料50万円給費奨学生 合格者の内、合計得点率50%以上の者
採用枠:人数制限なし(最大4年間200万円給費 *更新条件有)
- 奨学生採用枠から漏れた場合は、原則一般選抜の基準で合否判定する

□ 選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
公募制 給費奨学生	2026年11月23日(月) 10時から —12月3日(木)正午まで	12月7日(月)必着 (試験日当日持参も可能)	12月12日(土)	12月23日(水)	12月23日(水) —2027年2月24日(水)	12月23日(水) —2027年3月3日(水)
				手続書類送付日		
				12月23日(水)		

□ 選考方法 以下項目にて受験した者を判定する。

試験項目	内容	配点
学力試験(数学)	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点
学力試験(外国語)	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点
書類審査	調査書(全体の学習成績の状況×2)	10点
	活動報告書(指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入)	10点

一般前期(A)・一般前期(A)共通テストプラス

給費型奨学生採用区分と枠

- 授業料100万円給費奨学生
一般前期(A)、一般前期(A)共通テストプラスの成績優秀者として成績上位の者
(最大4年間400万円給費*更新条件有)
採用枠：一般前期(A)、一般前期(A)共通テストプラスの両選考合わせて最大30名を目処
- 奨学生採用枠から漏れた場合は、一般前期基準、一般前期共通テストプラス基準での判定となる。

選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	試験会場	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
一般前期(A)・ 一般前期(A)共通 テストプラス	2027年1月5日(火) 10時から ー1月21日(木) 正午まで	1月23日(土)必着 (試験日当日持参 も可能)	1月30日(土) 1月31日(日) 2月1日(月)	本学(1/30,1/31,2/1) 静岡(1/30,1/31) 沼津(1/30,1/31) 名古屋(1/30,1/31)	2月11日(木) ー 2月13日(土) 手続書類送付日	2月15日(月) ー2月24日 (水)	2月15日(月) ー3月3日(水)

*一般前期(A)共通テストプラスは、一般前期(A)3教科の結果に、「大学入学共通テスト」の対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。

学力試験教科・科目

- 理工学科(機械・自動車・航空・AIロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系)
- 建築・都市デザイン学科(建築学系、都市デザイン学系)

教科	科目	配点
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点

- 情報学科 次の4教科から出願時に3教科を選択

教科	科目	配点
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	100点
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点
国語	現代の国語・論理国語・文学国語	100点

○一般前期(A)共通テストプラスでは、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科をプラスできる。

- 理工学科(機械・自動車・航空・AIロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系)

共通テスト対象教科	科目	配点
数学	『数学I』、『数学I,数学A』、『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	100点
理科	『物理』、『化学』、『生物』から1出題科目	

- 建築・都市デザイン学科(建築学系、都市デザイン学系)

共通テスト対象教科	科目	配点
数学	『数学I』、『数学I,数学A』、『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	100点
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎(2出題範囲を選択解答する)』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1出題科目	

- 情報学科

共通テスト対象教科	科目	配点
数学	『数学I』、『数学I,数学A』、『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	100点
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』、『物理』、『化学』、『生物』から1出題科目	
外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1出題科目	
国語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
地理歴史、公民	『地理総合,地理探究』、『歴史総合,日本史探究』、『歴史総合,世界史探究』、『公共,倫理』、『公共,政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
情報	『情報I』	

大学入学共通テスト利用 前期共通テスト利用 (S) (A)

□ 給費型奨学生採用区分と枠

- 授業料 50 万円給費奨学生
前期共通テスト利用 (S) の合格者の内、該当科目の合計得点率 60 % 以上の者
前期共通テスト利用 (A) の合格者の内、該当科目の合計得点率 65 % 以上の者
採用枠：人数制限なし（最大 4 年間 200 万円給費 * 更新条件有）
- 奨学生採用枠から漏れた場合は、前期共通テスト利用基準での判定となる。

□ 選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
前期共通 テスト利用 (S)	2027年1月5日(火)10時から ー1月15日(金)正午まで	1月27日(水)必着	本学独自の 試験は行わない	2月11日(木)	2月15日(月) ー2月24日(水)	2月15日(月) ー3月3日(水)
				手続書類送付日		
前期共通 テスト利用 (A)	2027年1月5日(火)10時から ー1月24日(日)正午まで			2月13日(土)		

□ 選考方法

以下項目にて、指定した教科数を受験した者を判定する。

利用教科と科目

- 理工学科（機械・自動車・航空・AIロボット系、電気電子情報系、化学・バイオ系）
必須2教科【数学,理科】と選択教科【外国語,国語,情報】から1教科の計3教科で出願すること

共通テスト教科		科目	配点
必須教科	数 学	『数学I』,『数学I,数学A』,『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科	『物理』,『化学』,『生物』から1出題科目	
選択教科	外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
	国 語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

- 建築・都市デザイン学科（建築学系、都市デザイン学系）
必須2教科【数学,理科】と選択教科【外国語,国語,情報】から1教科の計3教科で出願すること

共通テスト教科		科目	配点
必須教科	数 学	『数学I』,『数学I,数学A』,『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎(2出題範囲を選択解答する)』,『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1出題科目	
選択教科	外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
	国 語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

- 情報学科 次の6教科から3教科を選択し出願すること

共通テスト教科		科目	配点
選択 教科	数 学	『数学I』,『数学I,数学A』,『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』,『物理』,『化学』,『生物』から1出題科目	
	外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
	国 語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	地理歴史, 公民	『地理総合,地理探究』,『歴史総合,日本史探究』,『歴史総合,世界史探究』,『公共,倫理』,『公共,政治・経済』,『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
	情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」,「地理歴史, 公民」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

建学の精神と基本理念

本学は、学校法人静岡理工科大学の建学の精神「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」に基づき、理念を次のように定めています。

豊かな人間性を基に、「やらまいか精神と創造性」で地域社会に貢献する技術者を育成する。

(注)「やらまいか」とは遠州地域の方言で「一緒にやってみよう」という意味で、進取の気性に富み、チャレンジ精神が旺盛な遠州人の気質を表現している言葉です。

○大学の目的

本学は上記の理念に基づき、大学の学則でその目的を次のように定めています。

「本学は、学校教育法及び教育基本法に基づき、科学・技術に関する学術を研究教授し、国際的視野と技術者としての使命感を持った向上心溢れる人材の育成、及び実践的創造的研究により社会に貢献することを目的とする」

○3つのポリシー

使命・目的を達成するための具体的な方策として、大学全体・各学部・学科・学系における3つのポリシーを次のように定めています。

静岡理工科大学 アドミッションポリシー (AP、入学者受入れの方針)

□ 大学全体

知識・理解	理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断	物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学の分野に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。
態度	主体的に学び、創造する姿勢を有する。
技能・表現	自らの考えを口頭表現や文章表現、図表等により伝えることができる。

□ 理工学部 理工学科

知識・理解	理工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断	物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	理工学の分野に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。
態度	主体的に学び、創造する姿勢を有する。
技能・表現	自らの考えを口頭表現や文章表現、図表等により伝えることができる。

機械・自動車・航空・AIロボット系

知識・理解	機械工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断	物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	機械工学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。
態度	主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。
技能・表現	自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

電気電子情報系

知識・理解	電気電子工学を学ぶために必要な数学全般や、電気・磁気分野を含む物理に関する基礎学力を有している。
思考・判断	もの、こと、環境、生物、社会などにおける様々な事象を、電気・電子・磁気現象とのつながりを意識しながら、客観的に捉え、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	ハードウェア・ソフトウェア両面の技術開発を通じて、半導体、医療・福祉、モビリティ分野を含む、地域・社会における課題を解決したいという熱意を持っており、入学前までに、高校内外において関連する分野の探究学習・課題研究に取り組む、また本学系の研究室・研究内容を調査し、模擬講義・実験体験に挑む、あるいはさがけ研究室体験に参加するといった、入学後を見据えながら、具体的な課題に取り組んでいこうとする意欲を有している。
態度	電気電子工学における学修系統を理解しており、自ら学習目標を設定し、それを実現するための知識・技術を主体的に学び、また実験・実践を通して修得し、高め、目標の達成に活かそうとする姿勢を有する。
技能・表現	図、表、グラフなどのデータを的確に用い、それらに基づいて、自らの考えやその妥当性を、第三者が理解、再現、実証できる形で、説明できる。

化学・バイオ系

知識・理解	物質生命科学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断	物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲	物質生命科学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。
態度	主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。
技能・表現	自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

□ 建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科

- 知識・理解 建築・都市デザイン学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多角的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 建築・都市デザイン学の分野に常に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。
態度 主体的に学び、創造する姿勢を持ち、技術者としてのモラルと寛容性を有する。
技能・表現 自らの考えを資料や口頭・文章表現、図表等により確実に伝えることができる。

建築学系

- 知識・理解 建築学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を観察・考察し、創造的な思考と判断ができる。
関心・意欲 建築の諸領域に常に関心をもち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。
態度 倫理観や責任感を有し、他分野との協調性を有する。
技能・表現 図面等や口頭表現を通して自らの提案を他者にきちんと伝えることができる。

都市デザイン学系

- 知識・理解 都市デザイン学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多面的に考察し、創造的な思考と判断により、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 都市デザイン学に関する諸領域に関心をもち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。
態度 主体的に学び、創造する姿勢を持ち、技術者としてのモラルと寛容性を有する。
技能・表現 自らの考えを口頭・文章表現等によって伝えることができる。

□ 情報学部 情報学科

- 知識・理解 情報学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 情報処理の流れや、情報と社会との関係性について論理的に考えることができ、課題や間違いを見つけることができる。
関心・意欲 情報学の分野に興味をもち、自ら企画、設計、開発、課題解決する意欲を有している。
態度 自ら情報検索して疑問点を解決し、試行錯誤して制作・実践する主体的態度を有する。
技能・表現 自らの意図を口頭表現や文章表現で他人に説明することができる。

カリキュラムポリシー（CP、教育課程編成・実施の方針）

□ 大学全体

静岡理工科大学の建学の精神と理念、大学の目的に基づいて、全学、各学部、および各学科、各学系の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる能力を身につけるために、必要な科目を系統立てて教育課程の編成を行い、実践する。

□ 理工学部 理工学科

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、Ⅰ類科目群（人間・文化科目）とⅡ類科目群（専門基礎科目）を設置する。
- (2) 専門的な知識を体系的に学び、技能・技術の向上のためにⅢ類科目群（学科専門科目）を設置する。また、チャレンジ意識の高い学生のニーズにこたえるべく、学内外の研究施設と連携し、学問分野や組織の垣根を超えた最先端の領域を学ぶことができる「尖端融合教育プログラム」を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。その一方で学系単一の学びとならないよう、横断的に学ぶことを可能とする。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。
- (7) 入学者全員にとってアントレプレナーシップ精神の「萌芽」「気づき」となる科目を配置する。アントレプレナーシップに関する基礎知識を身につける科目群や、実験や討論、PBLを行う科目を設定し、その履修を奨励するとともに、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。

機械・自動車・航空・AIロボット系

機械工学の基礎（四力学、加工、材料）を理解し、さらに「ものから入る教育」を通して設計・解析・製作・評価の実践のプロセスが身につくカリキュラムを編成する。

電気電子情報系

- 電気・電子に関する幅広い知識を十分に身につけた学生を育てるため、それらの元となる、数学、物理、さらには電気回路学・電子回路学・電磁気学に関する基礎知識を高めるべく、少人数・習熟度別クラス編成を行い、学科が3年前期終了時に実施する統一テストで、習熟度を確認する。
- 知識の習得だけではなく、その実践力を高めるための実験科目や、アクティブラーニングを含む講義を多数編成する。

- 本学科の今後の重点研究分野として位置付けている、半導体、医工連携、モビリティ分野における研究開発者を育成すべく、外部研究機関・研究施設と連携した、電気電子工学を活かした本学科独自のアドバンスト科目を構成する。
- 在学中に、自ら積極的に社会における課題を解決しようとする意欲や研究力を高めるべく、1年次から研究室に所属し、具体的な研究活動に参加できる、さきがけ研究室制度を実施する。
- 電気電子工学に関連する資格取得を可能とするカリキュラムを編成する。

化学・バイオ系

初年次に学部共通科目に加え、学系に共通の化学・生物・物理学の基礎科目を履修し、学年進行とともに化学を中心とした専門性の高い基礎科目と、材料科学、生命科学、食品科学の基礎科目を学習する。さらに2つのコースに分かれて専門性の高い科目を履修する。これらの科目とリンクして、1年後期から3年後期まで学生実験を行い、座学の知識を実践的に学ぶとともに、分析技術のスキルアップや、レポート作成とプレゼンテーションで表現力や発表技能の修得を目指す。これらの科目を履修することで、学系特有の資格や受験資格を得ることができる。さらに、教職課程を履修することで、高等学校教諭一種免許状(理科)を取得できる。

□ 建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、I類科目群(人間・文化科目)とII類科目群(専門基礎科目)を設置する。
- (2) 専門的な知識を体系的に学び、技能・技術の向上のためにIII類科目群(学科専門科目)を設置する。また、チャレンジ意識の高い学生のニーズにこたえるべく、学内外の研究施設と連携し、学問分野や組織の垣根を超えた最先端の領域を学ぶことができる「尖端融合教育プログラム」を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。その一方で学系単一の学びとならないよう、建築・都市デザイン学を包括的・横断的に学ぶことを可能とする。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。
- (7) 入学者全員にとってアントレプレナーシップ精神の「萌芽」「気づき」となる科目を配置する。アントレプレナーシップに関する基礎知識を身につける科目群や、実験や討論、PBLを行う科目を設定し、その履修を奨励するとともに、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。

建築学系

- (1) 建築には、建築計画・意匠、建築史、建築構造、建築環境・設備、建築材料・建築生産といった領域に加え、都市的スケールに及ぶ理解が求められる。
- (2) 上記(1)の統合の上に成立する「建築」を創造するための科目を配置し、一級建築士・二級建築士などの資格取得ができるカリキュラムを編成する。

都市デザイン学系

- (1) 座学、実験及び実務現場における学びの3者を同時並行的に学ぶことで、相乗効果により理解を深化させることができるカリキュラム。
- (2) 静岡県内の実際のフィールドを活用した実践的な知識・技術を身に付けることができるカリキュラム
- (3) 卒業要件を満たすことで測量士補の資格を取得でき、また教職課程科目を履修することで高校教員一種免許状(工業)が得られるカリキュラム。
- (4) 技術士補資格の試験及び公務員(土木職)の専門科目試験の内容を網羅した体系的な学びができるカリキュラム。
- (5) 地球全体を俯瞰した環境問題から身近な地域環境までの様々なスケールでの「まちづくり」技術を学ぶことができるカリキュラム。

□ 情報学部 情報学科

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、I類科目群(人間・文化科目)とII類科目群(専門基礎科目)を設置する。
- (2) 専門的な知識を体系的に学び、技能・技術向上のためにIII類科目群(学科専門科目)を設置する。各学生の学びの目標に対応した4つのコース(コンピュータ、クリエイション、人間情報学、社会情報学)を設け、履修の道筋を明示する。また、チャレンジ意識の高い学生のニーズにこたえるべく、学内外の研究施設等と連携した、アドバンストプログラムを学ぶことができる。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。その一方でコース単一の学びとならないよう、横断的に学ぶことについて奨励する。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。
- (7) 入学者全員にとってアントレプレナーシップ精神の「萌芽」「気づき」となる科目を配置する。アントレプレナーシップに関する基礎知識を身につける科目群や、実験や討論、PBLを行う科目を設定し、その履修を奨励するとともに、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。

ディプロマポリシー (DP、学位授与の方針)

□ 大学全体

- 知識・理解 理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学についての基礎・専門知識・技能をもち、様々な場面で活用することができる。
- 思考・判断 ものごとを論理的・創造的・重層的・複眼的に考え、社会の多様化、複雑化、国際化に対応しつつ、適切に判断することができる。また、既存の価値体系にとらわれず、新たな価値を見出すことができる。
- 関心・意欲 理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学を学ぶ過程で修得したスキルや挑戦的な姿勢のもと、自主的、主体的、実践的に行動することができる。
- 態度 他者と協働しつつ、主体的・自律的に学修・課題解決をすることができる。また、アントレプレナーシップ精神をもって、変化への対応や課題解決にむけた行動を起こすことができる。
- 技能・表現 理工学又は建築・都市デザイン学又は情報学を学ぶ過程で修得したスキルを活かして、自らの思考などを、適切な手法で表現・発信することができる。

□ 理工学部 理工学科

- 知識・理解 理工学（機械工学、電気電子工学、物質生命科学）についての基礎・専門知識をもち、技術および技能をものづくりやことづくりに活用することができる。
- 思考・判断 社会の多様化、国際化、複雑化する課題に対して探求心をもちつつ、論理的、創造的、重層的、複眼的な思考と新たな価値を見出すことができる。
- 関心・意欲 「ものづくり」、「ことづくり」に挑戦する力のもとで自主的、主体的、実践的に行動することができる。
- 態度 教養・専門知識を修得するため計画的、継続的、自律的に学修をする向上心をもつことができる。また、アントレプレナーシップ精神をもって、変化への対応や課題解決にむけた行動を起こすことができる。
- 技能・表現 発信力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力）と傾聴力を修得し、自らの思考・判断のプロセスを説明することができる。

機械・自動車・航空・AIロボット系

- 知識・理解 機械工学に関する専門知識と技術を修得し、それらの知識と技術をものづくり活動に応用できる。また、機械工学分野における設計・図面化・加工・組み立て・評価といったものづくり活動に欠かせない技術を身につける。
- 思考・判断 社会の発展に機械工学が果たしている役割を充分理解し、従事している仕事から課題を常に見つけ、高い企画力と行動力をもって、積極的に課題解決に取り組むことができる。
- 関心・意欲 科学・技術の進歩と社会ニーズの変化に常に関心をもち、自律的かつ継続的に新しい知識を学ぶ向上心・意欲をもつことができる。
- 態度 機械工学技術者としての倫理観や責任感をもちながら、それを組織活動でも活かせるべく協調性・リーダーシップ等の人間性・態度を身につけることができる。またグローバルな視点で海外の人・組織と関わる態度を身につけることができる。
- 技能・表現 機械工学の方法論に基づき、自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力をもつことができる。

電気電子情報系

- 知識・理解 電気回路・電子回路・電磁気の基礎を理解し、ハードウェアとソフトウェア両面から、制御システム、電力変換システム、情報通信システム、各種電子・光応用デバイスの設計・開発や、それらに関する実験・評価システムを理解・提案・構築できる。
- 思考・判断 社会における課題と電気電子工学との結びつきを捉え、制御・システム、電力・エネルギー、情報・通信、電子・光応用といった専門性・切り口から、自由な思考を持って、課題解決法を考案し、その妥当性・有効性を判断できる。
- 関心・意欲 地域社会における課題への関心や解決へのチャレンジ精神を常に持ち、解決に向けた技術調査や、知識・技術の習得を、自主的かつ実践的に行い、電気電子分野における資格取得にも挑みながら、それらを活かそうとすることができる。
- 態度 地域社会における課題に対し、自分ごととして捉え、自身の専門性・知識・技術・研究力を活かして、解決に向けて行動し、社会実装・事業化に繋げようとする意欲を持つ。
- 技能・表現 電気電子工学に基づく科学的な事象理解に基づいて、もの・ことづくりを実践する力を身につけ、情報分析、統計、データサイエンスの考えも用いながら、客観的に、自身の試みやその検証結果を口頭発表や科学論文によって、第三者に伝えることができる。

化学・バイオ系

- 知識・理解 化学を中心に物理学や生化学、分子生物学に関する素養を身につけ、生命科学・食品科学・材料科学・環境科学・エネルギー科学などのいずれかの分野の知識に基づいて考えることができる。
- 思考・判断 科学・技術と自然・環境との調和を理解することで現在の課題を発見し、未来を創造することができる。
- 関心・意欲 自ら環境・生活・生命・安全に関わる諸問題を解決するための専門知識を求め、自主的に課題に取り組むことができる。
- 態度 環境・生活・生命・安全に関する地域や社会のニーズに柔軟に対応し、かつ倫理的に行動することができる。
- 技能・表現 物質生命科学における方法論に基づき、自らの思考や判断過程を効果的に説明することができる。

□ 建築・都市デザイン学部 建築・都市デザイン学科

- 知識・理解 建築・都市デザイン学について基礎・専門知識をもち、技術および技能をものづくりやことづくりに活用することができる。
- 思考・判断 多様化・複雑化する社会や国際情勢に関する課題に対し探求心をもちつつ、論理的かつ創造的な思考のもと、社会に対する新たな価値を見出すことができる。
- 関心・意欲 「ものづくり」、「ことづくり」に挑戦する力のもとで自主的、主体的、実践的かつ積極的に行動することができる。
- 態度 教養・専門知識を修得するため計画的、継続的、自律的に学修する向上心をもつことができる。また、アントレプレナーシップをもって、社会の変化への対応や課題解決にむけた行動を率先してできる。
- 技能・表現 発信力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力）と傾聴力を修得し、自らの思考・判断のプロセスを説明することができる。

建築学系

- 知識・理解 建築計画・意匠・建築史、建築構造、建築環境・設備、建築材料・建築生産の個々の分野における広範な基礎知識と高度な専門知識を有し、個々の分野を統合しうる技術をもつ人材として、とりわけ地域固有の気候、風土や文化などを活かした都市・建築空間の創造に寄与することができる。
- 思考・判断 建築／都市／地域のスケールを横断し、3次元的な視点から創造的・論理的な思考と判断ができる。
- 関心・意欲 他領域との関連が高く、扱う領域も広い建築学の諸領域への関心を常にもち、かつ持続的に新しい知識を得る意欲をもつことができる。
- 態度 建築技術者として、倫理観や責任感を有し、同分野の人のみならず他領域・他分野の人とも高い協調性をもつことができる。地域や社会のニーズに対し想像力のある回答をすることができる。
- 技能・表現 自らの提案を他者・社会にプレゼンテーションする、あるいは発注者、利用者および技術者などプロジェクト関係者とスムーズに意思疎通するなどのコミュニケーション能力をもつことができる。

都市デザイン学系

- 知識・理解 都市計画、社会インフラ整備、都市環境及び防災・減災に関する広範且つ先端的な専門知識を備え、変化し続ける地球環境や地域住民の生活環境に柔軟に対応し、快適で安全・安心な地域住民の暮らしを創造することができる。
- 思考・判断 環境変化や複雑化する都市環境のなかで、様々な要素をバランス良く捉え、備えた高度専門知識を適切に用いて課題を解決することができる。
- 関心・意欲 住民の暮らしに関わる広範・複雑な事案に関心を持ち、新たな知識・技術等を挑戦的・実践的に取り入れ、新たな課題解決策を意欲的に立案することができる。
- 態度 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者としての確たる倫理観を備え、他者との協調・協働により課題解決に取り組むことができる。また、アントレプレナーシップ精神をもって、変化への対応や課題解決に向けた行動を起こすことができる。
- 技能・表現 他者の思考を傾聴し意思疎通を図ったうえで、自らの考えを論理的且つ判り易く伝えることができる。

□ 情報学部 情報学科

- 知識・理解 コンピュータと人間の感性に対する理解に基づいて、情報科学とICT（情報コミュニケーション技術）に関する深い知識を活用することができる。
- 思考・判断 情報学の専門知識、高度情報社会の倫理、および普遍的かつ国際的な価値基準をふまえて、ものごとを論理的、重層的、複眼的に考え、適切に判断するとともに、新たな価値を見出すことができる。
- 関心・意欲 問題意識と進取の精神をもってものごとを実践し、内省しつつ自らを継続的に向上させることができる。
- 態度 豊かな感受性と知的な創造性の発揮に向けて、主体性をもって他者と協働し、課題に取り組むことができる。また、アントレプレナーシップ精神をもって、変化への対応や課題解決にむけた行動を起こすことができる。
- 技能・表現 情報学から得た技術・技能と態度を活かして情報を収集し、自らの思い・考えを様々なシステムやコンテンツに表現し、発信することができる。

個人情報の取扱いについて

① 本学における個人情報の保護に関する基本的な考え方

本学では、個人情報が個人の尊厳と権利を保つために重要なものであり、慎重に取り扱われるべきことに鑑み、個人情報の収集、管理、利用、開示、提供のすべてについて、本人の意思が尊重されることが重要であると考えます。そこで、個人情報について、次のとおり取扱うことといたします。

- 1 個人情報保護法などの関連法規を遵守いたします
- 2 教育活動を行うために必要な範囲で個人情報を収集・利用いたします
- 3 個人情報について、本人からの開示、訂正の依頼があった場合は、本人確認を行ったうえで速やかに対応いたします
- 4 個人情報の管理にあたっては細心の注意をもってあたります

② 受験時にご提供いただく個人情報について

本学受験に際してご提供いただいた個人情報については、以下の目的に利用し、それ以外の目的には使用いたしません。

- 入学者選抜を行うための資料
- 受験者への結果通知および入学手続関係書類の送付
- 入学決定者の名簿作成およびクラス編成の資料

なお、提供していただく個人情報をもとに個人を特定できないように加工した統計データを作成し、それを教育活動の参考に利用することがありますが、この統計データについては個人情報にはあたりませんのでご承知おきください。

③ 個人情報の保有期間

受験の際に提供していただく個人情報は、入学される方については入学後も使用いたします。

辞退者および不合格者については、法律に規定された期間(5年)保管した後、廃棄いたします。

静岡理工科大学 入試本部

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢 2200-2

TEL.0538-45-0118

受験生サイト <https://navi.sist.ac.jp/>

